

城かべ 黒しっくい

水で練るだけで真つ黒なしっくいが簡単に出来上がります。
屋根の面土用としてお使い下さい。

- 全ての原料が正確に調合済み、いつでも同じ色の黒しっくいが作れます。
- 良質の顔料を使用、色ムラ、色アセが有りません。
- 砂の増量で経済的。



商品概要

①品名	城かべ黒しっくい
②性状	黒色粉末
③主原料	消石灰、黒色顔料、粉末糊料、植物繊維
④荷姿	20kgクラフト防湿袋
⑤用途	屋根面土しっくい
⑥用法	清水15ℓ、左官砂30kgと混練 コテ塗り
⑦塗面積	16.5㎡(5坪)/2.5mm～8.3㎡(2.5坪)/5mm



田川産業株式会社

城かべ



城かべ 黒むつくい

施工要領

1. 混練

- ① きれいな練り船に城かべ黒むついと清水15ℓ、砂30kgをいれて、練り鍬で充分練りあわせてください。
(ハンドミキサーご使用の場合、容器には水を先にいれておくと練りやすくなります。)
- ② 油を一本加え、改めて充分練りなおして下さい。
- ③ 混練後1～2日置いておくと良く馴染み、塗りやすくなります。

2. 下地処理

- ① 屋根上は収縮亀裂がしつくい表面まで出ないよう、なるべく乾燥させてください。
- ② 瓦面に塗る場合は表面をきれいに清掃して、シーラー引きをしてください。

3. 塗り付け

- ① コテで伸ばした後、表面が半乾きになる頃に押さえていきます。
コテ押さえを丹念にするほど色が鮮明になり、変色しません。

試験項目(試験方法)

①安定性試験 (JIS-A-6902)	②表面硬度 (JIS-A-6904,6908)	③接着強度 (JIS-A-6909)	④耐候性試験 (JIS-A-5400 ウェザーメーター)	⑤凍結融解試験 (-30℃～80℃ 10サイクル)
合格	7.2	2.2kgf/cm ²	異常無し	異常無し

施工上の注意

- ① 耐水性を出すため、混練時に必ず「城かべ油」を混入してください。
- ② 屋根土の収縮が大きかったり水分が多すぎると、表面まで亀裂が出ることがあります。
- ③ セメントの添加も可能ですが、強度、色合いについては施工者の判断によります。
- ④ 混練後材料を1週間以上置く場合は糊剤(粉末銀杏草)を添加してください。
- ⑤ 冬期は白華が出て色が変わりやすいので、成るべく温かい時期を選んで施工し、5℃以下の場合施工を避けてください。

製造



田川産業株式会社

〒826 福岡県田川市大字弓削田1924番地

TEL 0947-44-2240

FAX 0947-44-8484